

こくさいせいさくすいしんこんわかい がいこくせきけんみん かいぎ みなお あん
 かながわ国際政策推進懇話会・外国籍県民かながわ会議 見直し案

みなお あん
見直し案 1

たぶん かきょうせい かつよう かいぎ ていげんはっぴょう じっし
多文化共生イベントを活用して「オープン会議」・「提言発表」を実施

- ・ 外国籍県民かながわ会議（以下「外国籍県民会議」という。）の1年目の最後に提言の中間発表という形で「オープン会議」を、2年目の最後に「提言発表」を多文化共生イベントの場で行う。
- ・ 外国籍県民会議の議論と発表の場をオープンに実施することで、PRの場とする。
- ・ 知事または副知事及び県幹部（部長級以上）が出席し、議論や提言への理解を深める。

みなお あん
見直し案 2

やく かいぎ
「コーディネーター」、「サポーター」役が会議をまとめる

- ・ 外国籍県民会議の委員長、副委員長がコーディネーター役として会議をまとめる。
- ・ かながわ国際政策推進懇話会（以下「懇話会」という。）の委員（有識者）が、県に提言すべき内容を選定、集約する際に助言するなど、外国籍県民会議のサポート役になる。
- ・ 外国籍県民会議の議論の内容について懇話会から助言するなど、両会議が密接に連携して提言をまとめる。

かたけんとうかい けんとうけっか ち じ ていげん
 あり方検討会の「検討結果」として知事へ提言する

みなお あん 見直し案【詳細】 1

がいこくせきけんみん ～外国籍県民かながわ会議～ かいぎ

げん ざい
現 在

1 提言の発表

- ・ 提言を発表する場がなく、提言がどう施策に反映されるのか、どういう課題があって反映されないのかわからない



みなお あん
見直し案

1 提言の発表

- ・ 多文化共生イベントを活用して「オープン会議」、
「提言発表」を実施する
- ・ 知事または副知事及び県幹部（部長級以上）が出席し、議論や提言への理解を深める
- ・ 委員の応募人数を増やすためのPRの機会にする
- ・ 庁内横断会議と連携する

じゅんびかい おも いけん
準備会での主な意見

【担当部署との関わり】

- ・ 提言の内容は、多岐にわたるが、担当部署とやりとりする場面がない。

【応募人数】

- ・ 応募の人数を増やすことも重要。
(現状：川崎市の応募者が100名程度であるのに対し、神奈川県のおおぼしやめいていどは30名程度)

【会議のPR】

- ・ 県民に直接発言する機会があってもよい。会議自体を知らしめることは応募者を増やすこともあるが、神奈川県がきちんと取り組んでいることや、意味のある会議であることを知ってもらう機会になる。
- ・ 募集するとき、SNS等で外国人コミュニティに届くように、例えば動画や多言語等でPRするとよい。
- ・ 周りに外国籍県民が多い委員自身が発信してくれるとよい。

みなお あん 見直し案【詳細】 2-①

がいこくせきけんみん かいぎ ～外国籍県民かながわ会議～

げん ざい
現 在

2-① 委員の体制

- 委員の人数20人
- コーディネーターの役割不在
- 委員（委員長、副委員長）は全員公募



みなお あん
見直し案

2-① 委員の体制

- 委員の人数14人（12人+委員長+副委員長）
- 委員長、副委員長がコーディネーターの役割を担う
- 委員長、副委員長の就任は、前期委員の中から国際課職員が働きかける

じゅんぶいかい おも いけん
準備会での主な意見

【委員の人数】

- 委員の認識や意欲がバラバラで、問題意識が共有できるまでに時間がかかる。
- 10人程度であれば共有化しながら外国籍県民の意思表示になるが、20人は多い。
- 部会（4～6人）に分かれ小グループになるとある程度議論も進み、調べる役割などもでき形としてまとまる。
- 委員の地域バランス（居住地域、出身国等）は、1期の中で全部を表現する必要はなく、複数期の中で考えるということでもよい。

【コーディネーター】

- 意識統一を図るためには、リーダーシップをとる人間が必要。
- 国際課職員とは別に、専門的な知識やスキルがあるコーディネーターがいたほうが良いが、どういう役割を担ってもらうかが課題。
- コーディネーターが入ってきたときに委員長、副委員長の役割はどうなるのか。
- 人数が多すぎてもややこしくなるので、コーディネーターということであれば、委員長、副委員長になるのではないかな。

【委員長、副委員長の就任】

- 前の期の時点で、委員長、副委員長になってほしいという話はしておいたほうがよい。
- 来期も本気で続けてほしいという話は、国際課職員からしたほうが、会議がもたつくことなくスタートするのではないかな。

みなお あん
見直し案【詳細】 2-②

がいこくせきけんみん かいぎ
～外国籍県民かながわ会議～

げん ざい
現 在

かいぎ うんえいほうほう
2-② 会議の運営方法

- ・ 委員の意識統一のためのオリエンテーションの場がない
- ・ 早い段階から外部の人の意見を聞きたいがオープン会議以外の場がない



みなお あん
見直し案

かいぎ うんえいほうほう
2-② 会議の運営方法

- ・ 国際課職員がオリエンテーション（会議の位置付けや趣旨などを説明）を行う
- ・ 懇話会の委員（有識者）が、県に提言すべき内容を選定、集約する際に助言するなどサポート役になる

じゅんびかい おも いけん
準備会での主な意見

いいん いしきとういつ
【委員の意識統一】

- ・ 委員の認識や意欲がバラバラで、問題意識が共有できるまでに時間がかかる。
- ・ 会議の位置づけや趣旨などを説明するオリエンテーションの場が必要。
- ・ 会議の趣旨説明は会議主催者がしたほうがよい。

やく こんわかい れんけい
【サポート役・懇話会との連携】

- ・ 提言作りをする前に、外国人を取り巻く神奈川県状況を学習したほうがよい。
- ・ 現状のこと、データのことなど、自分たちが一生懸命やりたいと思うことを適切にアドバイスできる存在が必要。
- ・ 国際政策推進をする立場である懇話会の委員が、相談のついでに対応するのがよい。
- ・ 外国籍県民会議が一定の機能をきちんと果たすことを手伝うことも懇話会の役割の1つ。
- ・ テーマ設定に時間がかかるのであれば、懇話会の委員がサポーターになる。
- ・ 懇話会の委員に外国人NGOの人がいたら、そこに来ている相談の話など、皆色々なネタもっているので、意見交換をしてもよい。

げん ざい 現 在

こんわかい やくわり 2-③懇話会の役割

- ・ 指針に反映するための意見を聴く会議のみとはせず、広く国際施策に関する議論も行う



みなお あん 見直し案

こんわかい やくわり 2-③懇話会の役割

- ・ 指針に反映するための意見を聴く会議のみとはせず、広く国際施策に関する議論も行う（現行どおり）
- ・ 懇話会の委員（有識者）が、県に提言すべき内容を選定、集約する際に助言するなどサポート役になる（P4と同様）
- ・ 外国籍県民会議の議論の内容について懇話会から助言するなど、両会議が密接に連携して提言をまとめる

じゅんびかい おも いけん 準備会での主な意見

こんわかい やくわり 【懇話会の役割】

- ・ 懇話会は、県が気づきもしないことを、専門性をもって示すという役割をもっていると思う。
- ・ 外国籍会議ともっとリンクしたほうがいい。
- ・ 県だけですべてを受け止めるのではなく、NGOやNPOが受け止めることもある。
- ・ ビルドだけでなくスクラップの議論もできるとよい。
- ・ 懇話会と外国籍会議を一緒にするのは難しいのではないかと思うが、きちんと検討してみないとわからない。
- ・ 指針の改定のときだけに集められても適切な意見は出せない。